

創立71周年

令和3年度 10月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



心が動く時

園長 北村 恵

吹く風の気持ちよさに秋を感じる日々となりました。今、幼稚園の中は子供たちの元気な声やダンス音楽で溢れています。10月10日には、オリンピックをテーマにした運動会を行います。今年も午前中だけの開催で、残念ながら来賓の方をお呼びせず、参観人数を制限しての実施となりますが、保護者の方に子供たちの日頃の成果を見ていただけるよう、日々準備を進めているところです。

3歳児うさぎ組はまだ、運動会が何かよく分かっていませんが、校庭に行くと、とにかく広い場所が嬉しくて、かけっこやウサリンピックの競技を「もう1回！」「もう1回！」と繰り返しています。リズムの魚の衣装も気に入っていて、腰みのをひらひらさせながら、気持ちよさそうに校庭を泳いでいます。

4歳児ぱんだ組は、先日5歳児が踊っているキッズソーランを見せてもらい「かっこいい！」と大感動。自分たちもぞう組さんのようになりたいと一生懸命に足を開いて、「どっこいしょ、どっこいしょ」と叫んで踊っています。途中で隊形移動もしながら踊れるようになり、成長を感じます。表現の中で、コックさんになって踊る時にもかっこいい掛け声があり、声をそろえる楽しさを感じています。

5歳児ぞう組は、オリンピック選手になりきって動いたり、少し難しいことにチャレンジしたり、係としての仕事をしたり課題がたくさんあるのですが、幼稚園での最高学年として、自覚をもって取り組む姿が見られています。先日も「園長先生、できたできた！見に来て！」と呼ばれて、グループで相談して決めたアーティスティックスイミングの動きを見せてもらいました。前に見せてもらった時には、寝ころがって順番に足を上げるぐらいしかなかった動きが、レベルアップしてさらに楽しいもの変わっていました。グループに分かれて4つの競技を表現するのですが、他のグループの動きも刺激になっているようでした。

運動会に向けての取り組みの中で、「やりたい」「頑張りたい」「できるようになりたい」という子供たちの姿が随所に見られています。5歳児は鉄棒に挑戦していますが、「友達がやっていない技を見せたい」「怖いけど、絶対前回りができるようになりたい」などの強い気持ちで、繰り返し取り組む姿が見られています。傍で補助している大人が止めないと、次の日お腹に青あざができるのではないかと心配するぐらい「もう1回！」と続けます。その原動力になっているのは、友達の励ましかったり先生の援助だったり、できるようになった達成感だったり、その子供によっても違います。

中には、体を動かすことが苦手だったり挑戦することが怖かったりする幼児もいます。でもきっと、どこかで心が動く瞬間が来ることを信じて、先生たちは見守ったり声をかけたりしています。思いっきり身体を動かす楽しさやみんなと一緒に伸び伸び動く楽しさを感じ、やり遂げた満足感がもてる運動会にしていきたいと思います。